

地域企業における SDGs 推進・脱炭素化に向けた 学生主体のアプローチ

～西播磨地域における持続可能な産業発展に向けて～

環境人間学部 環境人間学科 社会デザイン系

教授 ますはら なお き 増原 直樹、B4 たけうち とも や 竹内 智哉

キーワード

持続可能な開発目標(SDGs), カーボン・フットプリント(CFP), 学生主体, 産業発展



研究概要

2023 年度から環境人間学部では学部 3 年生が中心となり地域企業に対し、SDGs 推進策を提案している。右図のように本学と地域企業、西兵庫信用金庫・龍野商工会議所が連携し、各主体の特性を活かす企画となっている。現在は、この企画の「フォローアップ研究」として、より定量的な調査と提案のために「カーボン・フットプリントを用いた脱炭素経営推進の提言」を進行中。

西兵庫信用金庫・龍野商工会議所から社会価値創造機構への呼びかけで開始
(機構との連携協定に基づく取組み)



当企画の流れ

対象企業の選定（西信・龍野商工会議所経由）

対象企業へ調査
ヒアリング、数値調査

分析と評価

提案を報告

企業がさらなる
アプローチを展開

【これまでの実績】

2023 年度：山弘、長田産業、極東産機(現 KLASS)、井河原産業、西兵庫信用金庫、ヒガシマル醤油（発表会の様子が神戸新聞で報道される）

2024 年度：兵庫県手延素麺協同組合、ユーパック、丸尾建築、高田商店、上林建設、フジイ

2025 年度：緑葉社、イボキン、帝国電機製作所(現 TEIKOKU)、ブンセン、オサキ、オーエスエム

現在、上記のうち 2 社を対象に、CFP の算定を進めている。本取組みにより、西播磨を中心に SDGs 達成・脱炭素化に向けた主体間連携の枠組み構築を目指す。今後、さらに地域特性やニーズに応じた展開を進め、特色ある産業が多い西播磨地域に適した取組みをデザインする。

アピール ポイント

一連の取組みでは、就活以外のチャネルで企業と学生の接点を創出し、地域産業への関心を醸成している。企業側では、学生目線、将来世代ならではの発想に基づく提案を真摯に受け止めていただき、製造業において女性採用比率の向上につながるなど一定の成果もみられる。また、学生にとっては「現場でしかわからない雰囲気や実態」を知り、学生中心の提案作成を通じて、主体性・創造性が育成されている。こうした各主体の連携による相乗効果(シナジー)の実現を通じ、企業、学生、地域それぞれにメリットが生まれる好循環を創出する。